

日本文化の伝道師 ドナルド・キーン

黒田杏子 (文心卒) 講演と特別対談

スペシャルゲスト キーン誠己

第 62 回園遊会 2020 年 4 月 29 日 (水・祝)

14 : 00 ~ 15 : 30

東京女子大学 23 号館 23101 教室

会費 : 1,000 円 学生 : 500 円

お申込み先

振込先 : 郵便振替 No. 00190-1-739775 「東京女子大学同窓会企画口」
通信欄に「黒田氏講演」、枚数、住所、氏名、電話番号をご記入ください。
お振込みをもって申込完了とさせていただきます。



日本文化の伝道師と自称され、2019 年 4 月 10 日「日本の皆さんに、感謝を込めて一鬼怒鳴門」とのあたたかなお言葉の記されたお別れ会から歳月がながれました。比類のないゆたかで、大きな活動を展開、持続されましたドナルド・キーン先生のご生涯とその巨大なお仕事の全容をつぶさに知り、学ぶことの出来るまたとない機会です。キーン先生と交流 30 年。本学卒業の俳人黒田杏子さんと、先生晩年のご養子キーン誠己さんにご登場いただきます。前半を黒田杏子さんのお話。後半をお二人の対談によるトーク・ショーとして構成。

この機会をおひとりでも多くの皆様にご参加いただきたくご案内申し上げます。



スペシャルゲスト キーン誠己 (キーン せいぎ)

1950 年生。鶴澤浅造 (つるさわ あさぞう) として人形浄瑠璃文楽座での三味線を勤めたのち、現在、越後角太夫として古浄瑠璃作曲、三味線弾き語りを行う。2012 年、ドナルド・キーンのご養子となる。父との共著に『黄犬 (キーン) ダイアリー』(平凡社) があるが、ドナルド・キーン没後は父キーンのご著作の解説の執筆をはじめ、国内外でのドナルド・キーン追悼の集いなどに招かれ、ドナルド・キーンについて語る、などの場がふえてきて多忙である。東京外語大ではフランス語を学ばれた。

黒田杏子 (くろだ ももこ)

1938 年東京生れ。1961 年東京女子大学文学部心理学科卒業。卒業と同時に広告会社博報堂入社。「広告」編集長などをつとめ、特別調査役として 60 歳定年まで在職。大学入学の年から、俳句研究会「白塔会」に参加。山口青邨門となる。第一句集『木の椅子』により俳壇デビュー。俳人と企業人二足のわらじを履き続けて活動。師没後俳誌「藍生」創刊主宰。瀬戸内寂聴・ドナルド・キーン・金子兜太・篠田桃江・永六輔・梅原猛など専門家との交流・交友の広さは他に例を見ない。エッセイストとしても知られ、俳人として、現代俳句女流賞・俳人協会賞・蛇笏賞・桂信子賞ほかを受賞。主宰誌「藍生」のメンバーには瀬戸内寂聴・夏井いつき・アビゲール・フリードマン・金利恵その他、国内外のすぐれた作家が多い。日経新聞俳壇選者。「兜太 T O T A」編集主幹。



お問合せ先 : 一般社団法人東京女子大学同窓会 〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-23-11

TEL:03-3395-4448 FAX : 03-3395-0084

E-mail : office@twcuua.jp

当日は会場内にて、記録用として写真や動画の撮影をすることがあります。それらを同窓会会報やホームページ、同窓会総会等にその一部を掲載または公開することがありますので、どうぞご了承ください。